



Izumi Pahēpuaokalani

3歳からフラを始め、いくつかの大会での優勝経験とともに自然とハワイの音楽に溶け込み、10歳でウクレレを始めると同時にハワイアンソングを歌う。

日本やハワイでも数少ないトラディショナル・ハワイアン・シンガーの1人。

2007年には1st.アルバム「Voice of a sweet little angel」を12歳でCDデビュー。

ハワイの人気ミュージシャン Kuana Torres Kahele 氏からレッスンを受け、“天からの柔らかい口ぶりの“花”というハワイアンネーム “PAHEPUAOKALANI(パヘプアオカラニ)”を授かる。

2013年に Kuana 氏のアレンジ・演奏による、ミニアルバム「Pomaika'i」をリリース。

その他ハワイの人気バンド WAIPUNA(ワイプナ)のアルバムなど、数多くのレコーディングに参加。

ハワイの音楽プログラム HiSessions に日本人として初めて出演し、ハワイアン航空のインフライトエンターテインメントにも使われている。

更に2014年公開の映画「抱きしめたい」、2018年公開の映画「スマホを落とすだけなのに」でも一部BGMの楽曲を担当している。



WAIWAI STEEL BAND

2008年、スティールパン奏者・伊澤陽一によって結成。

トリニダード・トバゴ共和国で生まれた楽器「スティールパン」を通して、独自のスタイルで追求する音楽を「WAIWAI ミュージック」と提唱し演奏活動している。

Playwright レーベルより 1st アルバム『TIME FOR PAN』、2nd アルバム『LAMP』 3rd EP『Cleared for take off』をリリース。

2022年アメリカ公演「マイアミカーニバル 2022」招待バンドとして出演 突き抜ける多幸感と躍動感に溢れた音楽で世に解き放つ！



兒玉 峻

弦楽器奏者

アコースティックギター、リゾネーターギター、アフリカンハープと呼ばれるカメレンゴ二などを奏で、民族音楽からエフェクターを駆使した実験音楽まで、ありとあらゆる音を飲み込みながら弦の波動を伝えている。